

泊発電所3号炉審査資料	
資料番号	資料9
提出年月日	令和5年3月2日

泊発電所3号炉 今回提出の審査資料に対する記載適正化予定リスト  
 技術的能力1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等

No.	条文	まとめ資料 ページ番号	比較表 ページ番号	適正化予定内容
1	技術的能力1.1	—	とりまとめた資料-2	2-1) 設備の相違におけるNo.①の相違理由について、先行プラントの情報を追記する。(下線部参照) ほう酸注入タンクを経由して発電用原子炉へほう酸水を注入しているプラントは、川内1/2号炉、 <u>高浜1/2号炉</u> 、 <u>高浜3/4号炉</u> である。 大飯3/4号炉、 <u>伊方3号炉</u> 、 <u>玄海3/4号炉</u> は、ほう酸注入タンク非設置。
2	技術的能力1.1	—	とりまとめた資料-3	2-2) 記載方針の相違におけるNo.①の相違理由について、先行プラントの情報を追記する。(下線部参照) 泊3号炉は、技術的能力1.0にて整理する要員の名称を記載している場合、改めて要員名称の定義は記載しないこととしている。 <u>(伊方3号炉同様)</u>
3	技術的能力1.1	—	とりまとめた資料-3	2-2) 記載方針の相違におけるNo.②の相違理由について、先行プラントの情報を追記する。(下線部参照) 泊3号炉は、手動による原子炉緊急停止における操作手順の動作状態を示す系統概要を確認できるように概要図を示している。 <u>(伊方3号炉、玄海3/4号炉同様)</u> なお、大飯3/4号炉と泊3号炉で対応手段に相違なし。(例：比較表p 1.1-14)
4	技術的能力1.1	—	とりまとめた資料-3	2-2) 記載方針の相違におけるNo.③の相違理由について、参照ページの誤記を修正する。(下線部参照) 泊3号炉は、原子炉出力抑制(手動)におけるタービン手動トリップ操作によりタービン主要弁の閉止状態を示す系統概要を確認できるように概要図を示している。なお、大飯3/4号炉と泊3号炉で対応手段に相違なし。(例：比較表p 1.1-16)
5	技術的能力1.1	—	1.1-4 1.1-5	女川2号炉欄の着色を変更する。 (旧)原子炉保護系(緑字) (新)原子炉保護系(灰色)
6	技術的能力1.1	—	1.1-7	女川2号炉欄の着色を変更する。(下線部参照) (旧)原子炉出力を抑制する手段がある。(灰色) (新)原子炉出力を抑制する手段がある。(黒字)
7	技術的能力1.1	—	1.1-8	女川2号炉欄の着色を変更する。(下線部参照) (旧)原子炉出力の急上昇を防止する手段がある。(灰色) (新)原子炉出力の急上昇を防止する手段がある。(黒字)
8	技術的能力1.1	—	1.1-11	泊3号炉欄の着色を変更する。あわせて相違理由について追記する。(下線部参照) (旧)手動による原子炉緊急停止で使用する設備のうち(黒字) (新) <u>手動による原子炉緊急停止で使用する設備のうち(青字)</u> <u>【女川】炉型の相違による対応手段の相違</u>

No.	条文	まとめ資料 ページ番号	比較表 ページ番号	適正化予定内容
9	技術的能力1.1	—	1.1-13	<p>泊3号炉欄の着色を変更する。あわせて相違理由について追記する。(下線部参照)  (旧)また、重大事故時に監視が必要となる計器及び給電が必要となる設備についても整理する(黒字)  (新)また、重大事故時に監視が必要となる計器及び給電が必要となる設備についても整理する(青字)  【女川】記載内容の相違  サポート系故障(電源喪失)を想定していないことについては女川と同様であるが、  給電が必要となる設備について確認できるように整理する(先行PWR同様)。</p>
10	技術的能力1.1	1.1-14 から 1.1-21	1.1-14 から 1.1-19	<p>以下の対応手段の操作手順について、発電課長(当直)から運転員への指示及び運転員から発電課長(当直)への報告が明確に記載された操作手順に変更する。  (1)手動による原子炉緊急停止  (2)原子炉出力抑制(自動)  (3)原子炉出力抑制(手動)  (4)ほう酸水注入</p>
11	技術的能力1.1	—	1.1-18	<p>以下の操作手順内の記載表現の相違について、先行プラントの情報を追記する。(下線部参照)  ④ 運転員(中央制御室)Aは、中央制御室でほう酸ポンプの故障等により緊急ほう酸注入ラインが使用できない場合は、代替手段として、充てんポンプの入口ラインを体積制御タンクから燃料取替用水ピットに切り替え、燃料取替用水ピットのほう酸水を発電用原子炉へ注入する。また、充てんポンプの故障等により充てんラインが使用できない場合、1次冷却材圧力が高圧注入ポンプ注入圧力未満であれば、高圧注入ポンプによりほう酸注入タンクを経由して燃料取替用水ピットのほう酸水を発電用原子炉へ注入する。  【大飯】記載表現の相違 記載表現については、高浜3/4号炉、川内1/2号炉同様</p>
12	技術的能力1.1	1.1-38	1.1-43	<p>第1.1.9図の(3)内の誤記を修正する。(下線部参照)  (旧)共通要因故障対策盤(自動制御盤)(ATWS緩和設備)が作動しない場合かつ  原子炉トリップ(中央制御盤手動操作)による原子炉緊急停止ができない場合  (新)共通要因故障対策盤(自動制御盤)(ATWS緩和設備)が作動しない場合かつ  原子炉トリップによる原子炉緊急停止ができない場合</p>